

2023年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月12日

上場取引所 東

上場会社名 日精イー・エス・ビー機械株式会社

コード番号 6284 URL <https://www.nisseiasb.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 C00 (氏名) 宮坂 純一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 山本 雄一 TEL 0267-23-1560

四半期報告書提出予定日 2023年5月15日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第2四半期の連結業績 (2022年10月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第2四半期	15,523	2.9	3,238	14.0	2,121	△48.9	1,500	△50.5
2022年9月期第2四半期	15,090	△15.6	2,841	△41.3	4,151	△24.6	3,031	△23.4

(注) 包括利益 2023年9月期第2四半期 207百万円 (△95.4%) 2022年9月期第2四半期 4,493百万円 (△5.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第2四半期	100.08	ー
2022年9月期第2四半期	202.21	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第2四半期	65,926	44,610	67.6
2022年9月期	68,956	45,903	66.5

(参考) 自己資本 2023年9月期第2四半期 44,574百万円 2022年9月期 45,865百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	ー	0.00	ー	100.00	100.00
2023年9月期	ー	0.00			
2023年9月期(予想)			ー	100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の連結業績予想 (2022年10月1日～2023年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	12.3	6,500	17.0	7,000	△21.6	5,000	△18.4	333.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記」「(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年9月期2Q	15,348,720株	2022年9月期	15,348,720株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年9月期2Q	357,391株	2022年9月期	357,308株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年9月期2Q	14,991,375株	2022年9月期2Q	14,991,476株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本書に記載した業績予想数値等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2023年5月23日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算補足説明資料については、決算説明会までに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報)	10
3. 補足情報	11
受注及び販売の実績	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2022年10月1日～2023年3月31日）の世界経済は、コロナ禍からの経済活動再開の動きが世界各地で本格化する一方、ロシア・ウクライナ情勢に起因する原材料・エネルギー価格の高止まり、インフレ進行と金融引き締めに伴う景気の減速懸念や金融部門の混乱の影響など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

一方で、当社グループの属するストレッチブロー成形機業界におきましては、不安定な政治経済情勢に伴う設備投資意欲の減退懸念はあるものの、安全で衛生的なプラスチック容器の需要は底堅いものがあり、事業活動は今後も堅調に推移すると思われまます。

こうした環境下、当社グループは「人と社会に豊かさを提供する」「高い技術、サービスで恒久的な存続を追求する」との経営理念に基づき、中長期的な成長発展方針を継続し、事業規模の拡大を見据えた各種戦略的施策の展開に注力しました。

技術面では、当社の得意領域である、高品質・高付加価値生産が特徴の1ステップ成形機（以下、1ステップ機）の優位性を高める「ゼロ・クーリングシステム」の更なる進化を図るとともに、金型交換時間短縮仕様搭載機の上市など、製品競争力の向上に努めました。また、大量生産機のシェア拡大や、環境問題対応を含む幅広い用途への容器利用を企図して、高品質・高付加価値な容器成形法および新型機群の開発を強化しております。

販売面では、主力の1ステップ機を中心に競争力強化による市場喚起を図りました。特に、世界各地の主要展示会への出展を再開することで、グローバルでの営業活動を強化し、需要発掘に努めました。なお、ドイツで開催された世界最大のプラスチック・ゴム展示会「K2022」および、インドのニューデリーで5年ぶりに開催された大規模展示会「Plastindia2023」においては多くの引き合いを得ており、早期の受注獲得に向け、営業活動を強化しております。

生産面では、グローバル生産体制の最適化を図るため、増産対応とリスク分散を進めております。具体的には、インド工場での成形機等の生産能力増強と納期短縮を図るべく、工作機械等への設備投資を継続しております。また、日本国内におきましては、将来の事業拡大に備え、本社工場近隣に新たな工場用地を取得しており、より強固な生産体制の構築を検討しております。

環境対応技術では、「3R+Renewable」への取り組みを継続し、「材料使用量の削減」、「PETボトルリユースの提案」、「リサイクル材料の使用促進」、「バイオプラスチックのボトル成形」などのソリューションを提供することで、全世界において環境配慮型の技術提案を強化しております。なお、前述のドイツ展示会「K2022」で披露した4台の新技术は、顧客から大きな関心を集めており、持続可能なプラスチック容器市場へ拡大すべく、今後も技術開発を強化してまいります。

販売成績につきましては、世界各地での経済活動再開に伴い、海外展示会への出展を加速させ、顧客との接点強化に努めたことにより、受注環境は堅調に推移しました。その結果、当期の受注高は16,439百万円（前年同期比113.1%）と過去2番目の高さとなり、受注残高も15,666百万円（前年同期末比134.8%）と高水準を維持しております。また、売上高につきましても、豊富な受注残高を順調に消化した結果、15,523百万円（前年同期比102.9%）と過去2番目の高さとなりました。

利益面につきましては、為替相場が前年同期に比べ円安に推移したことに加え、原材料高に対応した柔軟な価格政策を継続した結果、売上総利益は7,365百万円（同109.6%）、営業利益は3,238百万円（同114.0%）とそれぞれ増加しました。一方で、当第2四半期末の為替レートが前期末比で大幅な円高となり、営業外費用において為替差損が発生したため、経常利益は2,121百万円（同51.1%）と大幅な減益となりました。その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益も1,500百万円（同49.5%）と減益となりました。

当第2四半期連結累計期間における損益の状況は次のとおりであります。

（単位：百万円）

	売上高	売上総利益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
当第2四半期	15,523	7,365	3,238	2,121	1,500
前第2四半期	15,090	6,718	2,841	4,151	3,031
前年同期比	102.9%	109.6%	114.0%	51.1%	49.5%

製品別売上高状況

(単位：百万円)

	ストレッチブロー成形機	金型	付属機器	部品その他	合計
当第2四半期	7,834	4,510	1,036	2,142	15,523
前第2四半期	7,997	4,401	952	1,739	15,090
前年同期比	98.0%	102.5%	108.8%	123.2%	102.9%

製品別の売上高状況につきましては、ストレッチブロー成形機が7,834百万円（前年同期比98.0%）と前年同期を下回ったものの、その他の製品は軒並み増加しました。特に、部品その他が2,142百万円（前年同期比123.2%）と過去最高となり、金型も4,510百万円（前年同期比102.5%）と過去2番目の高さとなるなど、アフターサービス強化の施策は着実に進展しております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

セグメント（地域）別売上高状況

(単位：百万円)

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	合計
当第2四半期	5,352	3,017	4,783	2,369	15,523
前第2四半期	4,605	2,432	4,855	3,197	15,090
前年同期比	116.2%	124.1%	98.5%	74.1%	102.9%

セグメント（地域）別利益

(単位：百万円)

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	合計
当第2四半期	566	200	634	2,971	4,373
前第2四半期	475	255	411	2,994	4,136
前年同期比	119.0%	78.4%	154.4%	99.3%	105.7%

① 米州

米国経済には先行き不透明感が漂うものの、中南米を含む域内の受注環境は堅調に推移しております。売上高につきましては、豊富な受注残高を着実に消化した結果、北中米を中心に売上が増加し、地域全体の売上高は5,352百万円（前年同期比116.2%）と過去2番目の高さとなりました。セグメント利益も増収効果等により566百万円（同119.0%）と増益となりました。

② 欧州

ロシア・ウクライナ情勢の逆風はあるものの、当社製品の引き合いは好調に推移しております。前述のドイツ展示会「K2022」での商談収穫を進めた結果、当期の受注高は3,701百万円（前年同期比124.6%）と過去最高を記録し、売上高も3,017百万円（前年同期比124.1%）の高水準となりました。一方、セグメント利益は展示会費用の負担等の影響により200百万円（同78.4%）と減益となりました。

③ 南・西アジア

好調なインド国内市場の恩恵を受け、当期の受注高は5,334百万円（前年同期比109.1%）と過去2番目の高さとなりました。一方、売上高につきましては、その他の地域で受注回復に時間を要しているため、4,783百万円（前年同期比98.5%）と減収となりました。セグメント利益はインドにおける販管費等の減少により634百万円（同154.4%）と増益となりました。

④ 東アジア

域内における経済活動本格再開の動きを受け、受注環境には回復の兆しが見られ、当期末の受注残高は4,265百万円（前年同期末比192.8%）と過去最高を記録しました。一方、売上高につきましては、日本国内向け大型機の出荷が下期に予定されているため、地域全体の売上高は2,369百万円（前年同期比74.1%）と減収となりました。セグメント利益も売上規模の減少等により2,971百万円（同99.3%）と減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

(単位：百万円)

	流動資産	固定資産	流動負債	固定負債	純資産
当第2四半期	46,865	19,060	11,013	10,302	44,610
前連結会計年度	48,296	20,659	11,854	11,198	45,903

当第2四半期連結会計期間末（以下、当期末）の流動資産は、前連結会計年度末（以下、前期末）と比べ1,431百万円減少し、46,865百万円となりました。また、固定資産は、前期末と比べ1,598百万円減少し、19,060百万円となりました。この結果、当期末の資産合計は、前期末と比べ3,030百万円減少し、65,926百万円となりました。

流動負債は、前期末と比べ841百万円減少し、11,013百万円となりました。また、固定負債は、前期末と比べ896百万円減少し、10,302百万円となりました。

純資産は、前期末と比べ1,292百万円減少し、44,610百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、資金）は、前連結会計年度末に比べ1,151百万円増加し、20,340百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間（以下、当期間）における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 の期末残高
当第2四半期	4,768	△407	△2,603	20,340
前第2四半期	△728	△1,931	△2,625	15,945

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益の計上に加え、売上債権および棚卸資産の減少や仕入債務の増加による運転資本の減少等により、営業活動によるキャッシュ・フローは4,768百万円の収入（前年同期：728百万円の支出）となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

インド工場の工作機械設備等に係る支出等により、投資活動によるキャッシュ・フローは407百万円の支出（前年同期：1,931百万円の支出）となりました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

借入金の返済や期末配当金の支払い等により、財務活動によるキャッシュ・フローは2,603百万円の支出（前年同期：2,625百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年9月期の連結業績予想につきましては、2022年11月9日公表の予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,188	20,340
受取手形及び売掛金	6,687	5,564
商品及び製品	2,471	2,373
仕掛品	9,135	8,380
原材料及び貯蔵品	9,389	9,084
その他	1,485	1,189
貸倒引当金	△60	△65
流動資産合計	48,296	46,865
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,665	5,286
機械装置及び運搬具(純額)	6,466	6,018
土地	1,980	1,988
その他(純額)	4,323	3,682
有形固定資産合計	18,436	16,975
無形固定資産	111	101
投資その他の資産		
投資有価証券	277	340
その他	1,959	1,757
貸倒引当金	△124	△114
投資その他の資産合計	2,112	1,983
固定資産合計	20,659	19,060
資産合計	68,956	65,926

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,685	2,119
短期借入金	1,805	1,493
未払法人税等	1,704	348
契約負債	4,038	4,601
賞与引当金	643	507
役員賞与引当金	53	22
その他	1,923	1,920
流動負債合計	11,854	11,013
固定負債		
長期借入金	9,105	8,358
役員退職慰労引当金	534	544
退職給付に係る負債	833	799
その他	725	600
固定負債合計	11,198	10,302
負債合計	23,053	21,315
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,860	3,860
資本剰余金	3,196	3,196
利益剰余金	38,098	38,100
自己株式	△301	△301
株主資本合計	44,854	44,855
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	52	106
為替換算調整勘定	979	△368
退職給付に係る調整累計額	△20	△19
その他の包括利益累計額合計	1,010	△282
非支配株主持分	37	37
純資産合計	45,903	44,610
負債純資産合計	68,956	65,926

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
売上高	15,090	15,523
売上原価	8,371	8,158
売上総利益	6,718	7,365
販売費及び一般管理費	3,877	4,127
営業利益	2,841	3,238
営業外収益		
受取利息	77	120
受取配当金	3	4
為替差益	1,207	—
受取手数料	—	100
その他	60	44
営業外収益合計	1,348	271
営業外費用		
支払利息	20	16
為替差損	—	1,287
訴訟関連費用	9	79
その他	9	4
営業外費用合計	38	1,387
経常利益	4,151	2,121
税金等調整前四半期純利益	4,151	2,121
法人税、住民税及び事業税	881	435
法人税等調整額	235	187
法人税等合計	1,116	623
四半期純利益	3,035	1,498
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,031	1,500

(四半期連結包括利益計算書)
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	3,035	1,498
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18	53
為替換算調整勘定	1,438	△1,347
退職給付に係る調整額	2	1
その他の包括利益合計	1,458	△1,291
四半期包括利益	4,493	207
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,487	207
非支配株主に係る四半期包括利益	6	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,151	2,121
減価償却費	776	864
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	8
受取利息及び受取配当金	△80	△125
支払利息	20	16
売上債権の増減額 (△は増加)	99	926
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,033	262
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,380	572
契約負債の増減額 (△は減少)	△393	665
その他	△737	1,095
小計	1,422	6,407
利息及び配当金の受取額	76	113
利息の支払額	△24	△13
法人税等の支払額	△2,203	△1,740
営業活動によるキャッシュ・フロー	△728	4,768
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,923	△378
有形固定資産の売却による収入	3	2
無形固定資産の取得による支出	△11	△21
投資有価証券の取得による支出	—	△10
その他	1	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,931	△407
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1,089	△1,058
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,497	△1,497
その他	△38	△46
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,625	△2,603
現金及び現金同等物に係る換算差額	841	△605
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,443	1,151
現金及び現金同等物の期首残高	20,389	19,188
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,945	20,340

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	4,605	2,432	4,855	3,197	15,090	—	15,090
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,605	2,432	4,855	3,197	15,090	—	15,090
セグメント間の内部 売上高又は振替高	43	0	3,700	7,586	11,330	△11,330	—
計	4,648	2,433	8,555	10,783	26,421	△11,330	15,090
セグメント利益	475	255	411	2,994	4,136	△1,294	2,841

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,294百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,556百万円、セグメント間取引消去261百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2022年10月1日 至 2023年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	5,352	3,017	4,783	2,369	15,523	—	15,523
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,352	3,017	4,783	2,369	15,523	—	15,523
セグメント間の内部 売上高又は振替高	40	22	4,195	8,013	12,271	△12,271	—
計	5,392	3,040	8,979	10,382	27,794	△12,271	15,523
セグメント利益	566	200	634	2,971	4,373	△1,135	3,238

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,135百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,410百万円、セグメント間取引消去274百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

受注及び販売の実績

① 受注実績

製品別	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)		前年同期比	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (%)	受注残高 (%)
ストレッチブロー成形機	7,114	6,048	8,087	8,421	113.7	139.2
金型	4,840	4,584	5,495	6,195	113.6	135.1
付属機器	819	835	737	877	89.9	105.0
部品その他	1,765	155	2,118	173	120.0	111.4
合計	14,540	11,623	16,439	15,666	113.1	134.8

セグメント別	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)		前年同期比	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (%)	受注残高 (%)
米州	4,050	3,789	4,620	3,878	114.1	102.3
欧州	2,970	1,931	3,701	3,043	124.6	157.6
南・西アジア	4,890	3,689	5,334	4,479	109.1	121.4
東アジア	2,628	2,212	2,782	4,265	105.9	192.8
合計	14,540	11,623	16,439	15,666	113.1	134.8

(注) なお受注高の計算に際しては、前期以前に受注した案件のキャンセルは前期末受注残高より控除しております。

② 販売実績

製品別	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)		前年同期比(%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ストレッチブロー成形機	7,997	53.0	7,834	50.5	98.0
金型	4,401	29.2	4,510	29.1	102.5
付属機器	952	6.3	1,036	6.7	108.8
部品その他	1,739	11.5	2,142	13.7	123.2
合計	15,090	100.0	15,523	100.0	102.9

セグメント別	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)		前年同期比(%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
米州	4,605	30.5	5,352	34.5	116.2
欧州	2,432	16.1	3,017	19.4	124.1
南・西アジア	4,855	32.2	4,783	30.8	98.5
東アジア	3,197	21.2	2,369	15.3	74.1
合計	15,090	100.0	15,523	100.0	102.9